

まちのニュースは、町内の主な出来事をお知らせするページです。

まちのニュース TOWN NEWS



10 / 24 精神力を鍛え、全道へ 教育委員会にて優勝報告

第26回十勝入スポーツ少年団剣道交流大会が10月15日に本別町で開催され、団体の部で幕別剣道少年団が、中学生女子の部で川村真優（幕中3年）さんが優勝しました。小学生団体は、2年連続の全道大会出場、川村さんは初の全道大会出場となりました。団体の主将を務めた青砥海吾（白人小6年）さんは「十勝の代表として1つでも多く勝てるように頑張りたい」と抱負を語りました。

金子教
育長は「今
まで培っ
てきたも
の全て発
揮できる
よう、精
神力をさ
らに鍛え
頑張っ
てください
と激励し
ました。」

魅力を再確認！

10 / 22 ~ 23 忠類地域で農業体験

幕別町ならではの楽しみを体感していただくため、札幌圏の方々を対象としたバスツアーが行われました。忠類特産のユリ根の収穫体験を始め、乗馬や地元産の食材を使った豆腐、チーズ作りなどを体験し、参加者からは『また来たい』との喜びの声が聞かれました。



ゴミのないまちを…

10 / 30 秋の全町一斉クリーン作戦

毎年、春と秋の年2回実施している全町一斉クリーン作戦が行われ、地域の方々をはじめ、多くの方が参加してくれました。

空き缶やタバコの吸い殻などたくさんのゴミを拾い集めました。たくさんのご参加ありがとうございました。

知識を深めて…

11 / 5 幕別町百年記念ホール

幕別町が主催する「うつを知る講演会」が幕別町百年記念ホールで開催され、作家のWatarいさんが自身も経験したうつ病について語りました。闘病中は早期回復のため、音楽や香りなどで五感や脳に刺激を与えるようにしていたことを紹介していました。



1年間の成果を披露！

11 / 5 幕別町百年記念ホール

2年連続で北海道吹奏楽団体コンクールで金賞を受賞した札内東中学校の吹奏楽部による第26回定期演奏会が幕別町百年記念ホールで開催され、生徒たちが1年間の活動成果を披露しました。訪れた観客は、生徒たちの演奏に大きな拍手を送っていました。

故郷に思いをはせて

11 / 6 霞が関ビル・東海大学校友会館

第27回東京幕別会総会・懇親会が東京の霞が関ビルにある東海大学校友会館で開催されました。毎年、この時期に行われているこの会では、今年もたくさんの方が会場に駆けつけ、久しぶりの再開にあちこちで喜びの声が聞こえてきました。



未来への種まき

11 / 7~8 忠類ふれあいセンター福寿

修学旅行生の受け入れをテーマとして、十勝管内の農業者などを中心とした80人の方々がグループ討議やパネルディスカッションを行いました。農村生活の体験を通じた食への理解や、地域のファン作りを進めるため熱心な議論が交わされていました。

丹精込めて庭づくり

11 / 5～27 幕別町民会館など

手づくりのまち推進委員会が主催する「ガーデニング写真展」が町内4会場で開催されました。今年は、65点の素敵な花壇の写真が展示され、訪れた方から「自分の庭づくりの参考になる」や「丹精込めて手入れされている」など賞賛する声が聞かれました。



自分の将来を見つめて

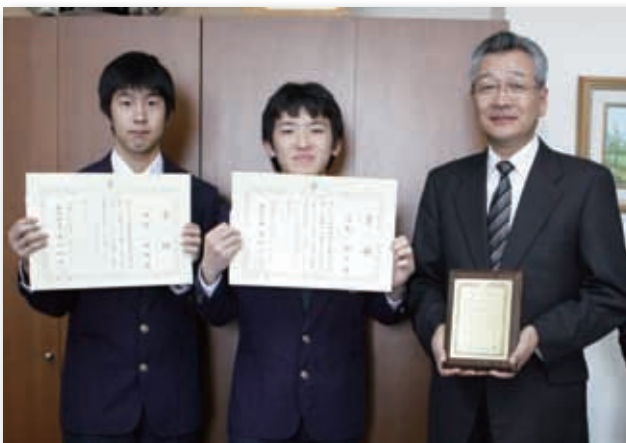
11 / 16 役場で職業体験学習

札内東中学校の2年生95人が、町内などの34の事業所で職業体験学習を行いました。このうち役場では、尾西さん、谷藤さん、寺山さんの3人が、パソコンへのデータ入力などの業務を体験しました。3人は「町民の要望に応える仕事にやりがいを感じる」と話していました。

お正月は外でたこ揚げ

11 / 19 幕別町百年記念ホール

地域の文化などを子供たちが学ぶ「ふるさと館ジュニアスクール」の和風づくりが19日、幕別町百年記念ホールで開かれ、参加した小学生が、昔ながらの和風づくりや凧揚げを体験しました。来年の干支である「辰」を描いた和風が多く、たくさんの辰が空を舞いました。



税を考える週間

11 / 22 幕別中学校など表彰

国税庁などが実施している「税を考える週間」で、租税教育推進校として幕別中学校が帯広税務署長表彰を受賞しました。また、中学生の「税についての作文」で浅井友理香(札内東中3年)さんが帯広地区納税貯蓄組合連合会会長賞を受賞しました。おめでとうございます。



観客を魅了したファッションショーの様子



実行委員長の武内悠紀夫さん

シニア世代が華やかに

10 / 29 忠類コミュニティセンター

忠類地域の住民ら約70人がモデルとなり、たんすで眠っている着物を現代風に作り直して披露する「忠類シニアファッションショー」が行われ、会場には約400人が来場しました。

昨年からはまったこのファッションショーは、忠類地区の高齢者団体などが実行委員会を組織し、ショーで披露される衣装は、しらかば大学ナウマン校の手芸講師が指導にあたるなどして作成されています。

今年のショーは、モデル役として更別村や大樹町の高齢者のほか、忠類地域で農業研修を行っている中国人女性らも参加し、町村の垣根を超えた交流の場としても一役買ったものとなりました。ハーモニカを演奏しながら登場するモデルや孫とサッカーボールをパスしながら登場するモデルも登場し、大きな歓声が会場を包んでいました。

豆すくいに長蛇の列

11 / 12～13 埼玉県上尾市

11月12日～13日に埼玉県上尾市で開催された「あげおアグリフェスタ」に、忠類物産展を出店しました。忠類の農産物を目的に会場を訪れるお客さんも多く「豆のすくいどりブース」には、イベントが始まる前から長い行列ができるほどの盛況ぶりでした。



出展された数々の作品

11 / 1～3 忠類コミュニティセンター

「忠類文化展」が町文化協会忠類支部主催で開催され、約330の方が来場されました。

展示では18団体・12個人が書道や陶芸、油絵などの出展がありました。中でも、園児や小・中学生の作品が多く展示され、家族で展示を楽しむ様子が見られました。